

「もうひとつの役割」

復興への想いが込められたモニュメント
(平成24年4月石巻市南浜町)



皆さんは被災地に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか？
私は平成二十四年四月より、芦屋市役所から宮城県にある石巻市役所へと出向しております。当初、私が持っていた被災地のイメージは至る所で重機が稼働していたり、ダンプトラックが忙しなく運行しており、復興に向けて街全体が動いているといったものでした。

しかし、実際に被災地に降り立ったときに感じたのは、「静」という感覚でした。公共工事を行っている場所もありましたが、それはほんの一部でほとんどの場所が被災した当時のままでした。山積み瓦礫無残に変形した子供の自転車、骨組みだけ残った家屋。一年経っても復興へ歩み始めているのが実感できませんでした。しかし、職場に行くこと、かつて経験したことのない甚大な被害とその

復旧に、議論を重ね、試行錯誤を繰り返しながら日々奮闘している職員のかたがたが、おられました。また、自治体だけでなく建設現場も同様に人手が不足しており現場が動いていなかったのです。

石巻駅にある市役所本庁舎



そして、震災後一年十カ月ほどになり、ようやくさまざまな復興事業が軌道に乗り始めています。その道のりの終着点はいまだにはつきりとは見えていませんが、私はその道のりが少しでも短くなるように日々、業務に励んでいます。さらに、もうひとつ私が担うべき役割があります。

震災前は住宅街があった地域
(平成24年4月石巻市南浜町)



被災地ではまだまだ不自由を強いられ、頑張っているかたがたがたくさんいます。被災地の現状を知る、そしてそこで頑張っている人を想う、考える、そして支援する。行動に繋げることはなかなか難しいですが、その第一歩として、この記事が少しでも被災地を想うきっかけになればと思います。

りました。震災の爪痕が高く伸びた雑草で見えなくなっていたのです。その時間とともに風化していくことを肌で感じました。時間というものは非情ですが、忘れてはいけない。伝えなくてはいけないということが私の役割の一つであると実感しました。

無残に残った家屋の1階部分や基礎
(平成24年4月石巻市南浜町)



昨年四月から石巻市に派遣職員として出向している職員からメッセージが届きました。

「未来へ復活 石巻」



羽黒山公園

沿岸部に位置する石巻市は地形上平地が少なく稼働している仮置場に災害廃棄物を山積みし、せざるを得ず、既存の施設に加えて仮設の焼却炉を設置しています。

明けましておめでとうございます。石巻市生活環境部災害廃棄物対策課の田中孝之と申します。平素は石巻市の災害廃棄物処理業務にご協力いただき、厚くお礼申し上げます。現在の石巻市は、平成十七年四月一日に一市六町(石巻市・河北町・雄勝町・河南町・桃生町・北上町・牡鹿町)が合併し、誕生しました。市の面積は五百五十五平方キロメートルと非常に広く、海岸に面している距離が長いことが特徴です。そのため、特に沿岸部では津波による大きな被害を受け、中心市街地も沿岸地域であったため、ほぼ全域が浸水しました。



石巻市中島(旧河北町)

災害廃棄物を早期に処理し、仮置場跡地を本来目的として使用する事で企業誘致などの経済活性化を図り、早期に本格的な復興事業を開始し、長期的で安定した雇用を創出していくことが期待されています。前を向いて歩んでいる被災者のかたがたの精神的な安定を確立するためにも、災害廃棄物の早期処理が目下の急務となっています。このような状況の中で、私は被災家屋の解体現場における監督員として家屋解体の施工状況を管理するほか、被災自動車の引き渡しといった業務などに携わっています。私が携わるこれらの復旧業務が遅れることにより復興に支障をきたさぬよう、日々職務に専念しています。平成七年に発生した阪

なみいた大橋(旧雄勝町)



神・淡路大震災当時高校生だった私は、今回初めて被災自治体職員として現場での経験をさせていただいています。今後、芦屋市は震災を経験していない職員が増えていく中で、私はこの貴重な経験をもち帰り、しっかりと伝えていく所存です。

石巻市は、リアス式海岸や沖合には金華山網地島・田代島といった風光明媚な景観と、長閑な田園風景などの自然が彩る日本ならではの四季折々の素晴らしい風景を有し、北上川流域の肥沃な大地で生産される米や野菜を中心とした農畜産物や、世界三大漁場の一つである三陸沖は豊富な水産資源の宝庫であり、まさに、食のまちにふさわしいさまざまな地域資源があります。そして、厳選されたお米を使用した石巻の地酒は、特に魚料理との相性が抜群です。皆様も是非一度、復興を目指して邁進している石巻市にお越しいただき、海山・川・島など変化に富んだ景観や豊富な食を満喫してください！



日和山

●プロフィール 小山 陽光(こやま はるみつ)



下水道建設課の皆さん

平成18年4月1日芦屋市採用。下水道課などを経て、平成24年4月1日から石巻市建設部下水道建設課に派遣。



●プロフィール 田中 孝之(たなか たかゆき)



平成12年4月1日芦屋市採用。課税課・収税課・債権管理課などを経て、平成24年4月1日から石巻市生活環境部災害廃棄物対策課に派遣。



1. 17 ひょうごメモリアルウォーク2013

大震災の経験と教訓を発信し、1.17を忘れずに語り継ぐことを目的として「1.17 ひょうごメモリアルウォーク2013」を次のとおり開催します。奮ってご参加ください。【ウォークコース】

- 日時 1月17日(木) 午前8時30分スタート(午前8時受け付け)
- 集合 川西運動場
- 内容 「HAT神戸」までの約10kmを歩く
《雨天決行》ただし、神戸市・芦屋市・西宮市に気象警報(暴風・大雨・大雪)が発令された場合は中止となります。

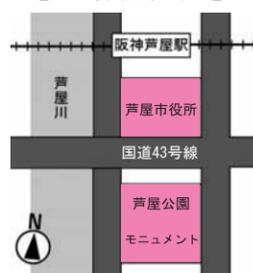
【1.17のつどい】

- 日時 1月17日(木) 午前11時50分～午後0時30分 献花は午後5時まで
- 場所 HAT神戸 人と防災未来センター 慰霊のモニュメント前
詳しくは「1.17は忘れない 兵庫安全の日公式サイト」をご覧ください。

問い合わせ ひょうご安全の日推進県民会議事務局 ☎078-362-9984

1. 17 芦屋市祈りと誓い

【会場位置図】



阪神・淡路大震災から1月17日で18年を経過するにあたり、犠牲者を追悼するため「1.17 芦屋市祈りと誓い」を執り行います。

- 日時 1月17日(木) 午前7時～午後5時<雨天決行>
- 会場 「阪神・淡路大震災 慰霊と復興のモニュメント」前
(浜芦屋町「芦屋公園」内)
- 内容 記帳・献花(花は市で用意します。) 供花や供物などは固く辞退します。
駐輪場・駐車場はありません。

問い合わせ 秘書課 ☎38-2000